

# Weekly コラム

平成 27 年 9 月 15 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会)

Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

## 活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

## ～あの時、この人～「岩崎弥太郎」

スリーダイヤでおなじみの三菱のマーク。本日は日本三大財閥の一つ三菱財閥の創業者、「岩崎弥太郎」(以下弥太郎)について取り上げます。

彼は1835年1月9日土佐国(現在の高知県)安芸郡井ノ口村という貧しい村の貧しい家に生まれました。土佐の男は「いごっそう」と呼ばれており、酒飲みが多く、一本気で妥協を許さない強情っぱりな人が多い国で、彼もまた「いごっそう」。負けず嫌いでやると決めたらとことんやる性格でした。

土佐藩の身分制度には、山内氏の家臣団である「上士」と長宗我部氏の子孫である「下士」があり、「下士」は「郷士」と「地下浪人」に分けられます。坂本龍馬や武市半平太は「郷士」でしたが、彼はさらに下位の「地下浪人」でした。「地下浪人」とは「郷士」としての権利を売却してしまった家格で、かろうじて苗字・帯刀を許されてはいましたが、藩の役目には就けないので農業で生計を立てていました。

2010年に放映されていたテレビドラマ「龍馬伝」では、香川照之さんが演じる弥太郎が大量の鳥かごを作って売り歩いていましたが、あれは史実らしいです。

土佐藩の参政(最高責任者)である吉田東洋やその甥である後藤象二郎のおかげで、かつての「地下浪人」は出世の階段を上がっていきます。弥太郎は、後藤象二郎により藩の商務組織・土佐商会主任、長崎留守居役に抜擢され、藩の貿易に従事します。その後、坂本龍馬の海援隊が土佐

藩の外郭機関となると、藩命により隊の経理を担当します。

明治元年(1868年)、長崎の土佐商会が閉鎖されると、大坂の土佐商会に移り、翌年10年、九十九(つくも)商会に改称、弥太郎は海運業に従事します。そして、廃藩置県後の明治6年(1873年)、後藤象二郎の肝煎りで土佐藩の負債を肩代わりする条件で船2隻を入手し海運業を始め、現在の大阪市西区堀江の土佐藩蔵屋敷(土佐稲荷神社付近)に「三菱商会(後の郵便汽船三菱会社)」を設立しました。これを期に、三菱商会は弥太郎が経営する個人企業となるわけです。この時、土佐藩主山内家の三葉柏紋と岩崎家の三階菱紋の家紋を合わせて三菱のマークを作ったことは有名です。

「国あつての三菱」と日頃から言っていた弥太郎は海運業から始まり、商社、金融、等々、事業を拡大して現在の礎を作ったのでした。時代は変わって現在、三菱航空機は日本初のジェット旅客機「三菱リージョナルジェット」を完成させました。日本初の国産戦闘機「零戦」を開発した三菱。戦後70年となる今年、弥太郎は空の上から日本の平和と三菱の発展を見守っているのかもしれない。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、

skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。